

STT072-03

会場:展示ホール7別室1

時間: 5月27日09:30-09:45

## PALSAR干渉に於ける最適入射角について

### Optimum incidence angle for PALSAR Interferometry

島田 政信<sup>1\*</sup>, 野口秀行<sup>1</sup>

Masanobu Shimada<sup>1\*</sup>, noguchi hideyuki<sup>1</sup>

<sup>1</sup>宇宙航空研究開発機構

<sup>1</sup>Japan Aerospace Exploration Agency

L-band合成開口レーダーの干渉感度と入射角との関係について検討したものである。L-band信号は地表を覆う植生を幾分透過して、地表まで到達し、一部がレーダー方向に反射する。繰り返し干渉SARは地表に近い、そして二時期で変化の少ない散乱体が干渉に寄与するもので、どの入射角でもっと高い干渉度を持つのが興味の対象となる。本研究では、航空機搭載SARを用いて、森林に対する電波透過性の偏波毎の違い、入射角依存性を調べるとともに、PALSARを用いてハワイ島に於ける干渉度の入射角依存性との類似性を調べる。その結果、干渉に寄与すると思われる森林からのダブルバウンスの成分の入射角依存性と干渉度の入射角依存性は高い類似性を燃せることが確認された。

キーワード: PALSAR

Keywords: PALSAR